

中学校 音楽解答用紙

中学校 特別支援学級（音楽） 解答用紙（7枚のうち2）

2

得点

1. 題材名「言葉によるリズムアンサンブルを創作しよう。」

教材：A「おうまがとおる！」（小林一茶の俳句より／滝口亮介 作曲）

または

B「くいしんぼうのラップ」（和田 崇 作・構成）

2. 題材の目標

- ・言葉の特性（言葉の抑揚、リズム）や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら歌ったり創作したりする学習に主体的に取り組む。
- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音素材の特徴を生かし、どのように演奏・創作するのかについて思いや意図をもって音楽表現を工夫する。
- ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。

3. 題材の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度		
言葉の特性（言葉の抑揚、リズム）や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌ったり創作したりする学習に主体的に取り組もうとしている。		

受験番号

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽解答用紙

中学校 特別支援学級（音楽）解答用紙（7枚のうち3）

2（続き）

4. 指導計画・評価計画

選択した教材

A

B

※選択した教材の記号に○印を記せ。

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点、評価規準 及び評価方法
1	- 教材のリズム譜を見て演奏を聴く。 - 気づいたことをワークシートに記入する。 - 使用されている言葉を読み、言葉のリズムと抑揚について考える。 - リズム譜を見ながら、1パートずつ全員で練習する。 - 曲の構成について考える。 - グループごとにパートを決め、アンサンブルの練習をする。 - 全員で合わせる。 - 次時の学習活動で、言葉によるアンサンブル曲を創作することを知らせる。	〔本時のワークシート〕 ①演奏を聴いて気づいたこと。 ②言葉のリズムを調べよう。 ③曲の構成について。 - 言葉の抑揚が2つの音高や音符の長さで表現されていることに気づかせる。 - 言葉の抑揚とリズムに気をつけて演奏する。 - リズムの重なり方、強弱、全体の構成を説明する。 - 次回の創作活動で使う言葉（川柳や七五調の言葉）を1つ考えてくることを指示する。	【音楽への関心・意欲・態度】 言葉の特性（言葉の抑揚、リズム）や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)
2			
3			

受験番号

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽解答用紙

中学校 特別支援学級（音楽） 解答用紙（7枚のうち4）

3

得点

(1)

Oboe

Viola

Cello

□ □ □ □

(2)

クラリネット（in A）

Cl.

□ □ □ □

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽解答用紙

中学校 特別支援学級（音楽） 解答用紙（7枚のうち5）

4

得点	
----	--

(1)

箏2

箏1

[illegible]

(2)

乃木調子	／	楽調子	／
------	---	-----	---

7

受験番号

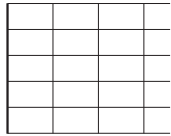
平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽解答用紙

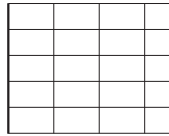
中学校 特別支援学級（音楽） 解答用紙（7枚のうち6）

4（続き）

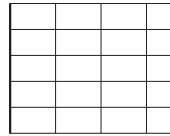
（3）



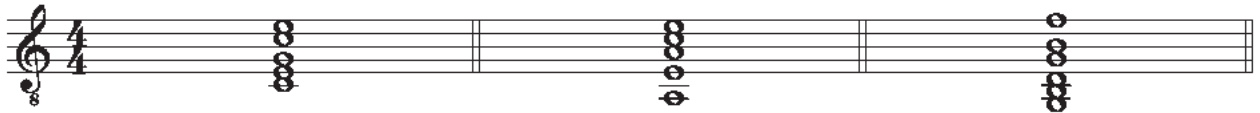
[]



[]



[]



（4）

受験番号	
------	--

平成28年度大阪市公立学校教員採用選考テスト

中学校 音楽解答用紙
中学校 特別支援学級（音楽） 解答用紙（7枚のうち7）

4（続き）

（5）

曲名	
作詞者名	
作曲者名	
歌詞	